

ジャンル: [人文書](#) >> [歴史\(日本を含むアジア\)](#)



[大きな画像を見る](#)

[画像をダウンロード](#)

四六判／上製／372 頁
初版年月日: 2023/08/25
ISBN: 978-4-7664-2909-1
(4-7664-2909-5)
Cコード: C3021
定価 2,970 円(本体 2,700 円)

中国・朝鮮人の関東大震災

共助・虐殺・独立運動

[武藤 秀太郎](#) 著

[▼ 目次](#) [▼ 著者略歴](#)

大災害の教訓に学ぶ

中国・朝鮮の人々にとって、関東大震災とはどのような経験であったのか。中華圏からの震災支援、虐殺事件、独立運動団体「義烈団」の動向、大韓民国臨時政府の対応などから精緻に検証する。近代未曾有の大災害を東アジア関係史に位置づける試み。

目次

はじめに

第一部 中華圏と関東大震災

第1章 菩薩と呼ばれた中国人 —— 王一亭の震災支援と幽冥鐘

第2章 「まさかの友は真の友」 —— 中華圏からの二度の大震災支援

第3章 ある中国人青年の死 —— 王希天事件と大島町事件という禍根

第二部 朝鮮人と関東大震災

第4章 “不逞鮮人”来襲、 —— 秘密結社「義烈団」の虚像と実像

第5章 大韓民国臨時政府の苦悩 —— 震災対応と権力闘争

おわりに

著者略歴 著者略歴は書籍刊行時のものを表示しています。

武藤秀太郎(むとう しゅうたろう)

新潟大学経済科学部教授。早稲田大学政治経済学部卒業。総合研究大学院大学文化科学研究科博士課程修了。学術博士。

専門は社会思想史、東アジア近代史。著書に『島田三郎——判決は国民の輿論に在り』(ミネルヴァ書房、2022年)、『大正デモクラットの精神史——東アジアにおける「知識人」の誕生』(慶應義塾大学出版会、2020年)、『「抗日」中国の起源——五四運動と日本』(筑摩選書、2019年)など。